

2026 年度

事業計画

2026 年 3 月 6 日

学校法人 明倫学園

2026 年度事業計画

我が国が、「持続可能で活力ある社会」の実現を目指し、人としての責務を自覚しつつ、協働を通じて課題を発見・解決へと導く「学び続ける人材」の育成を推進する中、本学園は、「人格の陶冶」「知識と技術の修得」「社会への医療技能の還元」という三つの創立綱領のもと、自立心と自律性を兼ね備え、思いやりと高い倫理観をもって地域社会と人々の健康を支える、歯科技工士・歯科衛生士の育成に努めています。

私たちは、医療人の養成を通じて地域医療の発展と福祉向上に貢献することを使命とし、その志を未来へとつなぐべく、学園の持続性と発展性をさらに高め、この使命を確かなものとするために、2025年度に新たな5ヵ年の経営改善計画を策定しました。

変化の激しい時代の中にあって、私たちは、限られた資源を知恵と創意によって最大限に活かし、教学改革と地域貢献の取り組みを積極的に進め、社会への貢献力を高め、本学園の新たな価値の創出を目指します。

1. 教学改革計画

(1) 専攻科教育とキャリア教育の充実

副専攻プログラム及び専攻科のさらなる充実を図ります。特に、歯科技工士学科の専攻科教育においては、学科課程からの課程をシームレスにつなげ、実質的な4年制教育を実現することにより、学生の学びを途切れさせることなく深化させ、実践力をもち、幅広い分野で活躍できる人材を育成します。また、臨床実習の充実化や、患者さんとの実践的なコミュニケーション能力向上のための教育プログラムの充実化を進め、リフレクションやケーススタディを通して、医療職としての倫理観と温かい思いやりを育み、人間性を深めるキャリア教育を推進します。

(2) 社会人プログラムの充実

歯科衛生士学科の「社会人プログラム」を一層充実させます。そのために、講義や自己学修で活用できるWebコンテンツの充実化を促進します。さらに、社会人学生を対象とした修学サポート体制を強化し、学習進捗の確認や質問対応をきめ細かく行うことで、安心して学びを継続できる環境を構築します。

(3) リカレント教育の推進

社会人の学び直しのニーズを踏まえたリカレント教育を推進します。実務に直結した教育プログラムを提供し、成果指標に基づく検証を通じて、持続的な教育体制の確立を図ります。あわせて、広報活動を通じて社会人層への情報発信を強化し、地域に開かれたリカレント教育の拠点としてのブランド力を高めます。

(4) 修学支援の充実

修学支援を必要とする学生や中途入学生に対し、一人ひとりの背景や目標に寄り添った丁寧な支援体制を整え、休退学の防止に努めます。学生同士が学び合い支え合うピアサポーター制度を活用し、修学面だけでなく生活面や精神的なサポートも行うことで、安心して学びを継続できる環境を構築します。それにより、教職員と学生が一体となり、誰もが自らの夢を追いかけ、成長を実感できる温かな学びの場を提供します。

2. 学生募集対策

(1) 多彩なツールによる魅力発信

社会人をはじめ、それぞれの夢や目的を持つ多様な学生と出会えるよう、全国へ向けた幅広い募集活動を展開します。動画やSNS、オンラインイベントなど多彩なツールを活用し、どこにいても明倫短期大学の「今」を感じられるよう、学びの魅力や、コミュニケーションが豊かで温かなキャンパスの雰囲気を発信します。

さらに、誰でもすぐにアクセスできる使いやすいホームページを運営し、入試から入学、そして卒業後のキャリア形成まで、安心して歩めるサポート体制を整えます。

(2) 地域に根ざした健康拠点としての情報発信

歯科医師会や歯科技工士会、歯科衛生士会など、さまざまな関係団体と連携し、地域の健康づくりの拠点として、歯科医療技術者養成の視点から「食」と「職」の情報を積極的に発信します。学生も地域の一員として、こども園や小学校での歯科保健指導、高齢者施設での口腔ケア支援、地域イベントでの食育活動などに主体的に参加し、実践を通して学びを深め、地域と共生する「地域キャンパス」を目指します。

3. 関連事業

附属歯科診療所、国際技術交流会館及び歯友会居宅介護支援センターそれぞれが、教育・医療・福祉が有機的に結びついた地域貢献活動を推進し、地域における貢献力と存在価値を高めます。

附属歯科診療所においては、地域住民の健康を継続的に支える医療サービスを、歯友会居宅介護支援センターでは利用者やその家族へのきめ細やかなサポートを展開します。また、国際技術交流会館は、本学のみならず他学の学生が、安全に安心して学べる住環境を提供するとともに、地域住民による新たな活用も検討し、地域活性化に寄与します。

これらの連携によって、学生は多様な実践の場を通して学びを深め、地域社会とともに成長する環境を育みます。同時に、教育・医療・福祉の一体的な展開により、本学園の経営基盤を力強く支える重要な柱となり、持続可能で信頼される学園運営を実現します。

4. 経費節減対策と外部資金獲得

これまで培ってきた堅実な経営姿勢を維持し、従来からのコスト削減策を着実に継続していきます。限られた資源を最大限に活かし、無駄を省きながらも教育や地域貢献活動の質を高める、効率的で持続可能な学園運営を推進します。

同時に、次世代を担う優秀な人材を育成するための寄付金募集を積極的に展開します。企業、卒業生、地域の皆さまとの絆を深め、本学園の理念と教育理念に共感いただける幅広いご支援を呼びかけます。また、支援の成果や活用状況を定期的に公表し、透明性の高い運営を徹底します。

これらの取り組みを通して、地域とともに未来を創造する学びの拠点として、さらなる成長を重ねます。